

令和元年度 宇都宮大学3C基金 寄附受入状況と活動報告

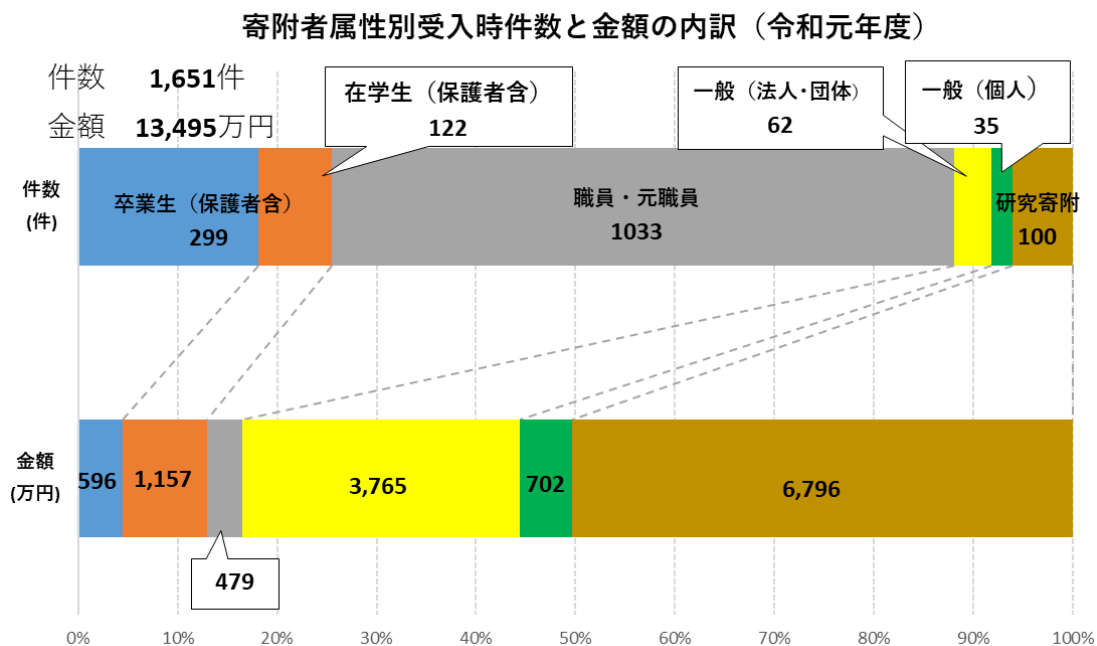
本基金は、旧基金をベースに拡充し宇大スピリット3C 精神(Challenge、Change、Contribution)にちなみ、平成29年度より宇都宮大学3C基金と改めました。宇都宮大学3C基金設立後、皆様からの多くのご支援をいただき、積み立てられた寄附金は、広く社会で活躍しう人材の育成にむけて、学生支援、教育研究活動支援、地域貢献活動支援、キャンパス環境の整備と充実等に反映させていただいております。本基金の趣旨に対して、深いご理解とご協力を賜わり、多大なるご寄附を頂戴しましたこと、厚く御礼を申し上げますとともに、これまでのご寄附に関する状況と平成31(令和元)年度の事業実績について報告いたします。

1. 寄附に関する状況

令和元年度までに、卒業生、在学生、職員(元職員)、法人・団体の方々から6,434件、総額約7億28百万円のご寄附を頂戴いたしました。

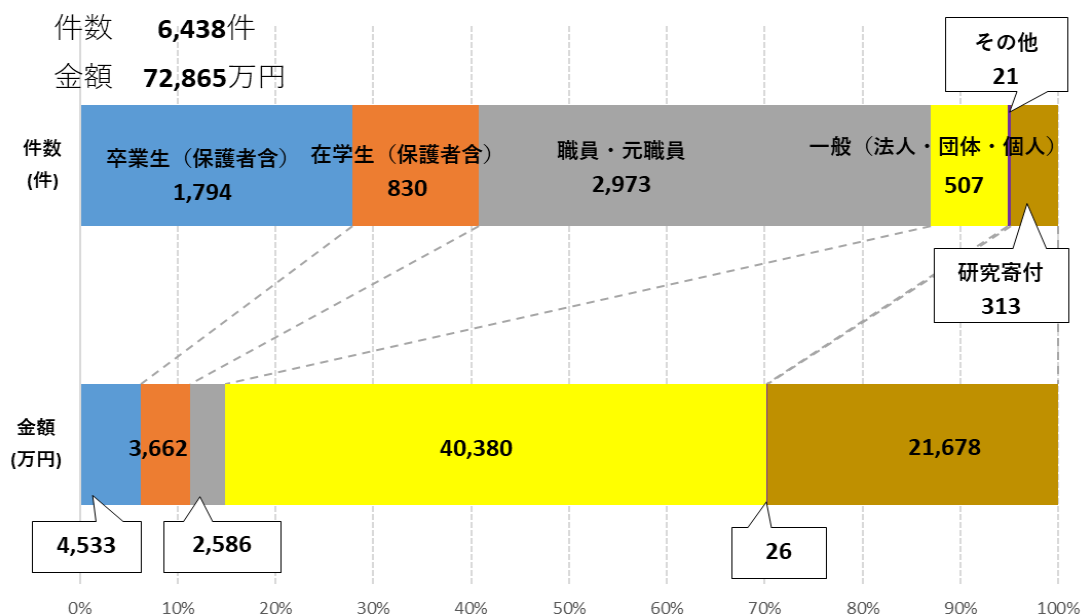
また、117名の個人の方々と30法人様が「宇大倶楽部」にご入会いただき、継続的なサポーターになっていただきました。

令和元年度に頂戴した寄附者属性別による受入件数と金額の内訳は以下のとおりです。



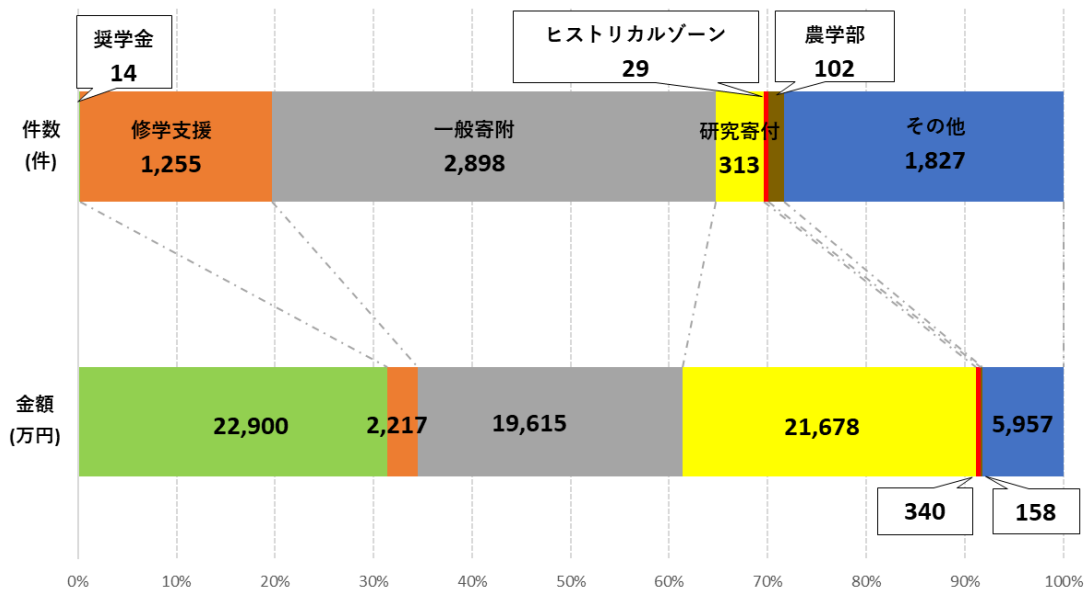
令和元年度末までに頂戴した寄附者属性別による受入件数と金額の累計による内訳は以下のとおりです。

寄附者属性別受入件数と金額の内訳（令和元年度までの累計）



令和元年度末までに頂戴した目的別件数と金額の内訳は以下のとおりです。

目的別件数と金額の内訳（令和元年度までの累計）



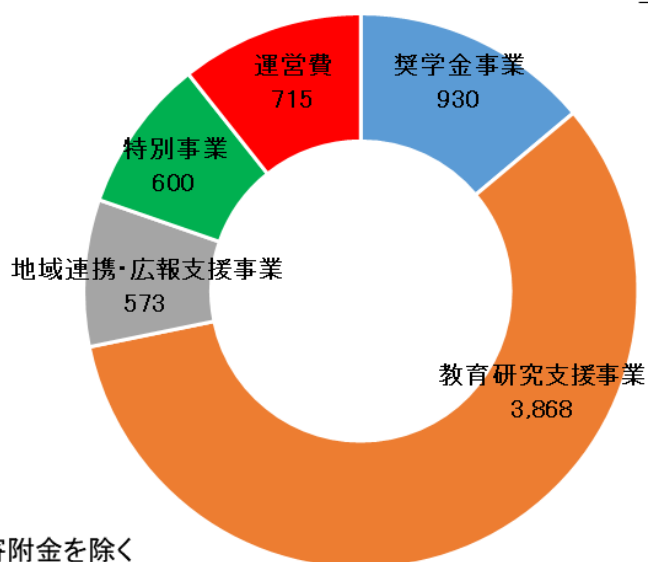
- 奨学金 飯村チャレンジ奨学金、増山奨学金、斉藤裕奨学金、関スポーツ奨学金
- 修学支援 経済的な理由により修学が困難な学生への支援
- 一般寄附 大学への全般的な支援
- 研究寄付 寄附者より、用途を教員の研究に指定された寄附金
- 歴史カルゾーン 歴史カルゾーンの整備
- 農学部 農学部 100 周年記念事業
- その他 旧基金の枠組による用途を問わない、学生、外国人留学生、国際交流、キャンパス整備等

2. 令和元年度の主な実施支援事業の報告

皆様から頂戴したご寄附は、以下の支援事業にて使用させていただきました。

令和元年度の主な支出額

単位（万円）



※研究寄附金を除く

《奨学金事業》

● 飯村チャレンジ奨学金(光陽エンジニアリング株式会社様(代表取締役会長:飯村慎一氏)からのご寄附)
経済的な支援が必要と認められる学士課程の学生 15 名に対して、月額 3 万円/12 ヶ月(合計 36 万円)の給付を行いました。給付者については、ボランティア活動に積極的に参加することを条件に、チャレンジ精神旺盛な学生を書類と面接によって選考しました。

各学生のボランティアや研究活動についての報告会を 11 月(学内)に実施しました。例年 2 月に実施している会津若松市での最終報告会ならびに研修旅行は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い中止になりました。

平成31年度
宇都宮大学 3C 基金
飯村チャレンジ
奨学金

申請期間
平成31年4月15日(月)~5月13日(月)

◆申請資格 以下1~4のすべてを満たす者(詳しくは募集要項でご確認ください。)
(過去に本奨学金を受給していた場合でも、再度申請をすることが可能です。)
1. チャレンジ精神に溢れ、大きな志をもち夢に向かって勉学に励む者
2. 学内で知性と教養を培い、ボランティア活動に積極的に参加するなど社会に貢献する意欲のある者
3. 本学の学履及び大学院の正規課程に在籍する者(外国人留学生を除く。)
4. 経済的実況が必要と認められる者

◆給付の対象としない者
1. 奨学金を有償で受けた者(借入、借学等特別な事由があると認められる場合を除く。)
2. 他の給付型奨学金(宇都宮大学3C基金入学金・奨励学金を除く。)を受給する者

募集要項は本学HPに掲載中です。
申請先
宇都宮大学学務部学生支援課 028-649-5102



● 入学応援奨学金

宇都宮大学への入学を希望しながら、経済的理由により進学を断念することがないよう栃木県内高校出身の学生 10 名に対し、入学時に必要となる学資の一部として 1 名あたり 30 万円を支給しました(選考は平成 30 年度に実施し、平成 31 年 4 月に支給)。

● 関スポーツ奨学金 (関雅樹様(株式会社栃木ブレックス取締役会長)からのご寄附)

課外活動団体(体育系で各種競技大会に出場している任意団体)に所属し、積極的にスポーツ活動に参加しており、スポーツと活動と学業の両立のため、経済的に支援が必要と認められる学生 9 名に対して、1 名あたり 10 万円の給付を行いました。

《教育研究支援事業》

● 増山奨学金-外国人留学生支援奨学金-(増山律子様(ランスタッド株式会社名誉会長)からのご寄附)
大学院修士課程および博士前期課程に在籍する学生のうち、学業成績および人物が優秀で、かつ留学時の生活のための経済的支援を必要とする私費外国人留学生4名(前期)、3名(後期)に対して、それぞれ 10 万円の給付を行いました。

- 増山奨学金-海外留学支援奨学金- (増山律子様(ランスタッド株式会社名誉会長)からのご寄附)
条件を満たす該当者がいなかったため、令和元年度の支給はありませんでした。

- 齋藤裕奨学金

理工系の学士課程 4 年生と大学院修士課程および博士前期課程に在籍する学生のうち、先進的な研究開発に意欲がある学生3名にそれぞれ 100 万円、70 万円、50 万円の給付を行いました。

- 齋藤裕研究助成金

先進的な理工系の研究者支援のため、アメリカパデュー大学へ研究留学した教員 1 名に対して、200万円を助成しました。

- SDGs推進奨励賞



学都宮大学SDGs推進奨励賞
Incentive Award for Scientific Importance and Impact on Promotion of SDGs
Utsunomiya University

宇都宮大学に在籍する学生・教員に奨励し、研究活動、教育活動、学生の社会貢献活動にSDGs推進奨励賞を授与します！！

【趣旨】「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)」は、2015年9月の国連サミットで全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までの目標(総称)です。SDGsでは、持続可能な開発を実現するために17の目標(ゴール)と169のターゲットが定められ、世界中の「誰一人取り残さない(SLeave No one behind)」ことを目指し、持続可能な開発から学ぶ国際連携の促進や国際的な連携の促進が図られています。さらにその実現を促進するためにSDGsの目標も定められています。このSDGsには、取り組むべき目標が掲げられているだけでなく、2030年までに達成すべき目標(ターゲット)の達成が期待されています。SDGsの時代ではSDGsの推進に貢献している学生・教員に対して、学都宮大学がSDGs推進奨励賞を授与するようになります。このSDGs推進奨励賞は、SDGsの推進に貢献している学生・教員に対して、学都宮大学がSDGs推進奨励賞を授与するようになります。このSDGs推進奨励賞は、SDGsの推進に貢献している学生・教員に対して、学都宮大学がSDGs推進奨励賞を授与するようになります。

・学大奨励賞(奨励賞対象)	1,000万円
・学大奨励賞(奨励賞対象)	2,000万円
・学大SDGs推進奨励賞(奨励賞対象)	2,000万円
・学大SDGs推進奨励賞(奨励賞対象)	1,000万円

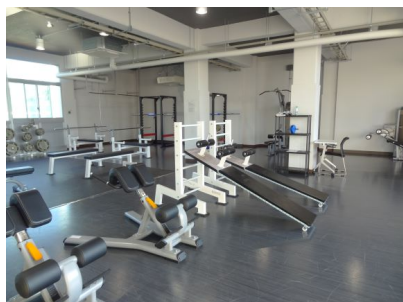
補注：奨励賞対象は、学都宮大学SDGs推進奨励賞(学大)推進奨励賞(学大)の2者に限定して授与されます。

世界共通の持続的な開発目標であるSDGsの達成に向けて、宇都宮大学が大きく貢献することを目標に、本学におけるSDGsの推進に大きく貢献し、今後も持続的に貢献できると期待される研究を遂行している教員(研究プロジェクト)3名(3件)に対してSDGs推進研究奨励賞を、また、教育の取り組みをすすめた教員(教育プログラム)3名(2件)に対してSDGs推進教育奨励賞を、それぞれ20万円授与しました。

在籍する学生・大学院生(グループ)の主体的、意欲的なSDGs推進活動を支援するため、活動に要する物品購入、事例発表、資料収集、各種調査のための経費等について、SDGs推進学生社会貢献奨励金として8グループに178万円を支給しました。

- 学生支援(課外活動支援等)

峰キャンパスにおける課外活動用の備品の補修と整備を行いました。



武道場改修 (177万円)



架空部活動費 (350万円)
※活動指定寄附による



馬術部馬場柵更新 (191万円)

- 教育プログラム支援

国際連携教育活動への支援を、地域デザイン科学部(3件/150万円)、国際学部(1件/50万円)に対し行いました。支援した教育活動のテーマは以下のとおりです。

- ① 工学部建設学科とインドネシア パジャジャラン大学地質工学部およびトリサクティ大学 地球工学・エネルギー学部との国際連携教育の支援(地域デザイン科学部)



水道管内の水質調査



ワークショップへの参加



トリサクティ大学での打合せ

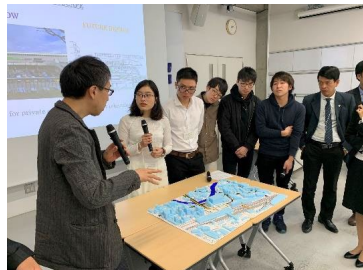
- ② ベトナム ダナン科学技術大学と本学の大学間交流協定締結に伴う国際連携教育の推進(地域デザイン科学部)



LRT オープンハウス視察



ワークショップ



シンポジウム(最終報告会)

- ③ 台湾における現地学生・院生と本学学生・院生との共同調査・ワークショップの開催(国際学部)



歴史的建造物調査



講義・ワークショップ



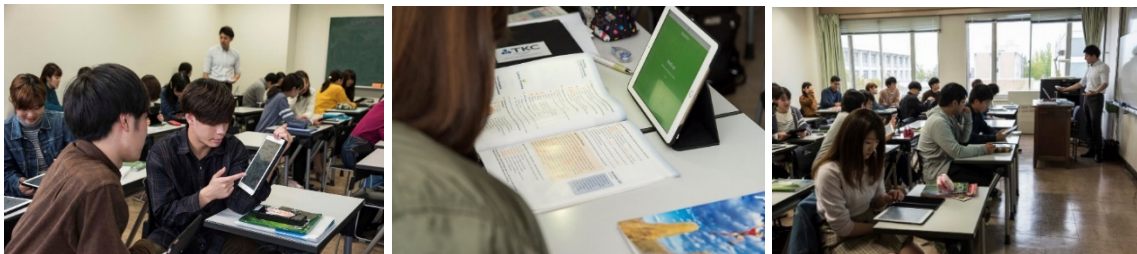
報告会

- ④ まちづくり・デザインに関する国際連携教育プログラム(地域デザイン科学部)

本プログラムは、令和2年3月に、地域に根ざしたまちづくりとデザインに関する教育について、海外の先進的なまちづくりの事例や歴史的な町並みを視察し、現地の大学と連携してレクチャーやワークショップを実施する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止となりました。

- 教育設備の充実

基盤教育英語科目 (EPUU) における学習内容の充実を図るため、株式会社 TKC 様のご寄附を活用し、平成 31 年度は、関連機器の購入、iPad の修繕、ネットワーク通信、セキュリティ関連に対し 118 万円を支出しました。



平成 29 年-30 年の購入で、授業を受ける学生 1 人に対し 1 台の iPad の使用が可能になり、授業内容が充実しました。

- 大学院生研究奨励金(フィールドワーク Grant)

フィールドワークや各種調査、に主体的・意欲的に取り組む大学院生 6 名に対して 19 万円の給付を行いました。

- 3C 留学奨励金

海外派遣プログラム(海外英語研修、チャレンジ留学、教育学部グローバル人材)に参加する学生に 198 万円の支援を行いました。支援したプログラムは以下のとおりです。

【海外英語研修】

オーストラリアサザンクロス大学(22 名/各 4 万円)

マレーシアサラワク大学(10 名/各 4 万円)

【教育学部グローバル人材海外語学研修】

マレーシアサラワク大学(8 名/各 4 万円)

カナダカピラノ大学(2 名/各 4 万円、1 名/2 万円)

オーストラリアサザンクロス大学(2 名/各 4 万円)

【チャレンジ留学】

オーストラリア(1 名/8 万円)

ベトナム(1 名/4 万円)

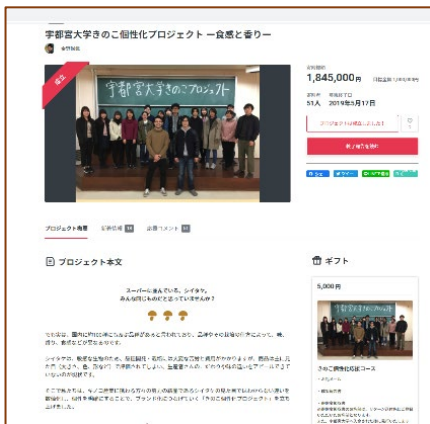
アメリカ(1 名/8 万円)



- 研究寄附金 (指定寄附金)

寄附者から指定された教員に寄附された寄附金は、当該教員の学術研究及び教育活動に使用されました。

- クラウドファンディング



本学初のクラウドファンディング「宇都宮大学きこの個性化プロジェクトー食感と香りー」を実施しました。異なる品種のシイタケの香り成分と食感を数値化、比較する分析機器(食感試験機)の購入と基礎研究に使用するための資金として、目標金額 100 万円のところ、51 件(個人 47 名、企業4社)より 184 万5千円のご支援をいただきました。いただいたご寄附は、食感試験機の購入、基礎研究に必要な経費、寄附者へのリターンに使用しました。

《特別事業》

- 積立

キャンパス環境整備(学びゾーン、情報スペース等)の積み立てのために400万円を振り替えました。

- 特別事業予算への振替

2022年完成予定のヒストリカルゾーン(大谷石蔵、庭園、講堂)の整備にむけて、200万円を振り替えました。

《地域連携・広報支援事業》

- 地域貢献活動支援

峰が丘地域貢献活動事業(部局企画事業8件、学生企画事業5件)へ140万円の支援を行いました。

- 体験活動講座・教室

次世代育成事業として、「子ども国際理解サマースクール」、「小学生を対象としたプログラミング教室」等、24件の子ども向け体験活動講座・教室活動に対して317万円の支給を行いました。

- 創立70周年記念事業

宇都宮大学創立70周年記念事業(11月23日開催)で配布した記念品(農学部附属演習林のヒノキ材を使用したオリジナルスマホスタンド)の作製、ガーデンティーパーティーの会場準備のために116万円を使用しました。

《基金運営費》

- ・銘板の設置、サポーターパネルの更新、返礼品、寄附特典等、寄附者の方々への対応費用として532万円を支出しました。
- ・リーフレット作成、郵送費等3C基金運営の事務費用として182万円を支出しました。



3. 今後の計画

令和2年度は、特に新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、4月からの授業をオンラインでのメディア授業に切り替えて実施しているため、学修機会を最大限に確保できるよう、学びの継続のための緊急支援パッケージを整え、本基金を原資とした給付型緊急奨学金の支給やノート型パソコンの貸与等、多角的な形で学生への支援が行えるよう体制を強化していきます。

また、これまでの支援事業に加え、学びゾーンの整備、図書館陽東分館の改修(陽東キャンパス)、旧図書館書庫(大谷石蔵)の改装を含むヒストリカルゾーン(峰キャンパス)の整備を進めます。

宇都宮大学3C基金の精神に則り、さらなる教育研究活動の充実をはかれるよう支援事業の拡充に取り組んでまいります。今後とも宇都宮大学3C基金に対する変わらぬご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。